

モンゴル経済トピック（2011年2月）

今月の主なトピック

- 銀行セクターの資産は、2010年末時点で6兆2千億トグログに。
（経済）
- 「エルデネス・タバン・トルゴイ」社の株式公開にかかわる支援企業が決定（経済）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- モンゴル政府の放射線鉱物及び原子力に関する計画は、2009～2012年、2013～2021年の2段階により実施する予定。第1段階では、法的環境の整備等を実施する予定。第2段階では各種案件の実施を予定している。開発費となる40兆3940億トグログは国又は民間企業が調達する予定。
（ZM1）
- 銀行口座預金者数は前年比20.4%増となり、預金総額は41.4%増加した。銀行セクターの資産は、2010年末時点で6兆2千億トグログに達し、これは前年比約1兆9千億トグログ、43%増となった。（MT1）
- ニューコム社は米ゼネラルエレクトリック社と協力し、ゼネラルエレクトリック社資金、自社資金及び欧州復興銀行（EBRD）のローンにより8千万米ドル（約1千億トグログ）で50メガワットの風力発電所を建設予定。
（SH1）
- 2010年、モンゴルは2500万トンの石炭を採掘した。このうち、1800万トン中国に輸出した。石炭の輸出による利益総額は8億7760万米ドル。石炭の輸出による収入は前年比5億7100万米ドル増加。（AE2）
- 国際通貨基金（IMF）の調査団は、2011年のモンゴル国の経済見通しについて、経済成長率は約10%となる可能性があるが、財政支出の増加により2011年末にはインフレ率は20%まで上昇する可能性があり、2011年の財政支出を削減する必要があると報告した。（AE2）
- ウランバートル市に地下鉄を敷設するためのF/S実施企業の選定を目的とした国際入札の結果、韓国の「ソーサンエンジニアリング」社及び「ソウルメトロ」社のコンソーシアムが落札した。同コンソーシアムはすでにモンゴルの道路・運輸・建設・都市計画省及び専門機関と協力して、昨年8月から調査を開始している。地下鉄はウランバートル市の地下を縦断する形で敷設され、2017年までに開通予定。（MT9）
- 大蔵省の決議により、1リットルあたり1280トグログであったディーゼル燃料費が、14日から値上がりし、1リットルあたり1380～1400トグログで販売されることとなった。（ZM14）

- 国家統計委員会の報告によると、食料費、飲料費及び水の値上がりにより、消費者物価指数は前年比 13.8%増となった。(ZM14)
- 衛星及び衛星通信技術の分野における日本及びモンゴルの協力関係を発展させるため、日本政府及び企業団体の代表が、13-16 日の日程でモンゴルを訪問し、モンゴル郵政・情報通信技術庁と合同でセミナーを開催した。(AE14)
- 「ウランバートル鉄道」モンゴル・ロシア合弁会社は、2010 年末に資本金の増額を行うことを決定し、これにより、機器の刷新を段階的に行うこととなった。14 日、最初の機関車 4 台（計 30 台を納入予定）が納入された。(SH15)
- 15 日、イタリア・ミラノでモンゴル・イタリア政府間会合及び「モ・伊ビジネス・フォーラム」が開催された。(UN16)
- 2011 年度国家予算には、道路運輸分野の「ミレニアム・ロード」プロジェクト及び国家道路ネットワーク中期開発計画目標を達成するため 1661 億トグログの予算が組まれており、特に地方の道路、橋梁の改善に向けた案件が実施される予定。(MM16)
- 国有財産委員会委員長及び「エルデネス・タバントルゴイ」国営株式会社社長らは、同国営株式会社の株式を国際証券取引所に上場予定であり、上場入札に関連する海外 16 銀行の代表らと会談を行った。(ZM16)
- 2020 年までのウランバートル市開発計画の中の市内道路開発マスタープランでは、近い将来に延べ約 200 キロの道路を新たに建設する予定としている。2011 年には、ウランバートル市内で 73 キロの道路を新たに建設するほか、これを含めた 27 件の大型案件（約 670 億トグログ）を実施予定。(MT17)
- インド国営製鉄大手の SAIL 社は、モンゴル政府と、モンゴルに年間 300 万トンの鉄鋼を生産する製鉄工場を建設することについての交渉を開始した。(TR18)
- 2011 年 2 月 15 日時点における貿易状況は次の通り。
 - 貿易総額 7 億 2180 万ドル（前年同期比 69%増）
 - 輸出総額 2 億 8200 万ドル（前年同期比 27.3%増）
 - 輸入総額 4 億 3980 万ドル（前年同期比 110%増）
 - 貿易赤字 1 億 5780 万ドル（前年同期比 1 億 7390 万ドル増）(AE18)
- 20 日、オーストラリアを訪問中のバトボルド首相は エクストラータ社のマウント・オベン炭田の技術力及びオートメーション化の状況などを視察した。(MM21)
- 2010 年度に実施された第三次農業復興計画により、ジャガイモ、小麦の自給率はそれぞれ 100%、野菜の自給率は 53.7%であった。(MT21)
- 2010 年度の小麦の収穫量は 34 万 4500 トンであった。そのうち 3 万 6800 トンについては 2011 年度の播種のために備蓄し、4 万 2700 トンを農業支援基金に、18 万 5200 トンを各製粉工場に、1 万トンをアルコール工場に、2 万 7200 トンを家畜飼料生産者にそれぞれ販売した。(MT21)

- 18日、バトボルド鉄道庁長官は、バトザヤー・モンゴル鉄道国営会社社長に対しタバン・トルゴイ炭田とチョイバルサンを結ぶ長さ1100キロメートルの鉄道整備を行う特別許可を付与した。(MT21)
- ウランバートル市内の食料品価格は、先月比0.5%、先週比0.3%上昇した。(AE22)
- 2010年第4四半期のモンゴルの輸出総額は17億ドルであり、前年同期比65.7%増。輸出の8割近くは鉱物資源が占めており、銅、石炭、石油は100%中国に、螢石の75%はロシアへ、金の75.9%はカナダへそれぞれ輸出された。(SH22)
- 23日、「エルデネス・タバン・トルゴイ」社の株式公開に関し、ドイツ銀行と米国のゴールドマンサックスがメイン・ファイナンシャル・アドバイザーとして、フランスのBNPパリバとオーストラリアのマッコリーグループが市場参入への仲介銀行としてそれぞれ選定された。(ZM24)
- 24日、モンゴルを訪問中の中国の楊外交部長は、ザンダンシャタル外交・貿易大臣と公式会談を行い、両国関係を「戦力的パートナーシップ」に向け関係を構築していくことで原則合意し、モンゴル外交・貿易省と中国外交部間の2011-2012年協力計画、国境周辺の森林火災対策への協力に関する協定実施規則及び中国の香港行政特別区におけるモンゴル国領事館の設立に関するE/N署名が行われた。(MT25)
- 24日、モンゴル中央銀行は、政策金利を現状維持とするとともに、各銀行における準備金を5%から9%に上昇させ、モンゴルの外貨準備高を23億2900万米ドルとすると発表した。(MT25)
- 24日、モンゴルの石炭分野を対外的にアピールし、石炭業界の発展を促進するため、「モンゴル石炭2011国際投資フォーラム」が開催された。(MT25)

2. 経済協力

- 9日、ランバー保健大臣はアジア開発銀行（ADB）保健問題担当と会談し、ADBの有償資金ソフトローン協力（5000万ドル）により、2012年から5～6年間実施される、輸血及び血液由来製品の備蓄、医療廃棄物の管理の改善を目的とした「保健分野の開発5」プロジェクトについて意見交換を行った。(UN10)
- 18日、ザンダンシャタル外交・貿易大臣と城所卓雄駐モンゴル日本国特命全権大使、磯貝 JICA モンゴル事務所所長との間で、8.1億円の無償資金協力による「食糧援助」に関するE/N及びG/Aの署名が行われた。「食糧援助」は、モンゴル国内の食糧供給の改善を目的として、1991年以降17回に亘って実施されている。(MT17)
- 世界銀行の230万ドルの無償資金協力により、モンゴル国税庁の税務関連処理の電子化事業を実施予定。(MT28)

3. 金融

(特記事項なし。)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

(特記事項なし。)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

- 14日、国家特別対策委員会会合が開催され、口蹄疫対策に係る殺処分補償金として計26億6300万トログログを政府より拠出したが、今後もさらに17億トログログが必要であると報告された。(UN15)
- 17県198郡で68146頭の家畜が積雪及び寒さのため死亡している。今後、12県49郡で越冬状況の悪化が懸念されている。(MM15)

9. 保健医療

(特記事項なし。)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

12. その他

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードゥル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙、NT ニーゲミーン・トリ紙、MP ウグルーニー・ソニン、MT モンツァメ通信)

(了)